

直管LED器具 富士型 照明器具

階段通路誘導灯・非常用照明器具兼用型（電池内蔵型）

（防雨・防湿型）

品番 NWFG（NWFGH）21002

※上記（ ）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

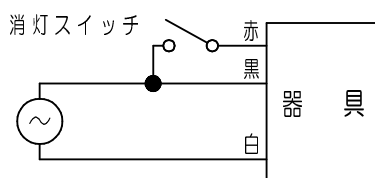
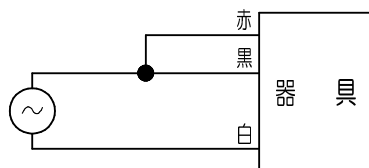
- 施工は、施工説明にしたがい確実に施工する。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理（融着テーピング等）は確実に施工する。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続（ねじり接続等）はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。
- 器具、ランプを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 必ずパナソニック製LEDランプを使用する。管径・口金が異なると防水性能が損なわれ、落下・感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取扱に注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用する、感電・火災の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理（融着テーピング等）は確実に施工する。感電・火災の原因となります。
- 水平天井取付専用ですので、壁面取付はしない。非常灯性能を満足しない恐れがあります。
- 蓄電池を短絡・分解等しない。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。

注意

- 風の強い場所、常時高温・高湿度になる場所、腐食性ガスが発生する場所、塩害を受ける場所、振動の強い場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- この器具は防湿・防雨型器具です。サウナなど高温になる場合には使えません。過熱による火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用する、蓄電池の劣化、ちらつき、短寿命及び非常点灯しない原因となります。
- この器具の電源は、専用回路にしてください。
- 断熱材、防音材等を施工した場所には使用しないでください。火災の原因となります。
- 非常用照明器具としてご使用される場合は、次のように配線してください。
- 階段通路誘導灯として使用される場合、常時連続点灯してください。常時消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導用信号装置等を用いて消灯してください。

配線種類

- ・2線式（連続点灯する場合）
- ・3線式（壁スイッチ等で点滅操作する場合）



※壁スイッチは、赤線回路に設けてください。
※壁スイッチで消灯しても電池への充電は行われています。

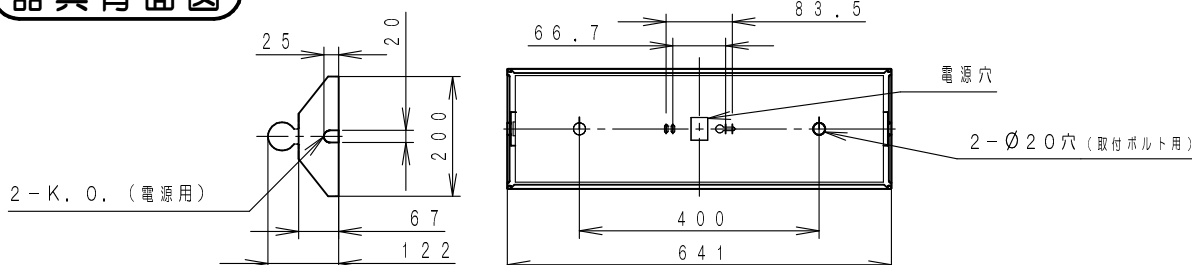
※階段通路誘導灯として使用する場合は、誘導灯信号装置を用い、自動火災報知設備の動作と連動させてください。詳細は信号装置の取扱説明書をご参照ください。

- 電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

- ・T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。
- ・短寿命の原因となりますので、直射日光の当たる場所に設置しないでください。

器具背面図

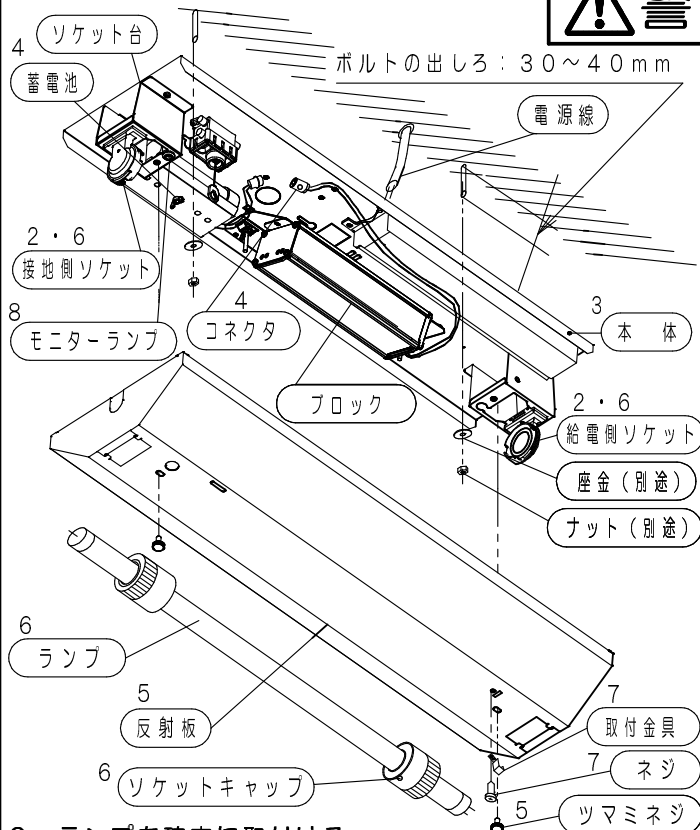


各部のなまえと取付方法



警告

施工は、施工説明書にしたがい確実に施工する。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。



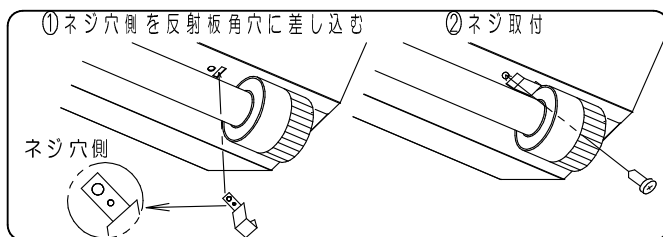
6 ランプを確実に取付ける

- ・適合ランプは、「お手入れ・ランプ交換」をご参照ください。
- ・ランプにソケットキャップをはめ込む。
- ・▽マーク付ソケットにランプピン1本ピン側を取付ける。
(ランプに方向性があります。向きを確認して取付けてください。)
- ・ランプをソケットの奥まで挿入して、確実に取付ける。
- ・発光部が照射方向となるように90°回転させて取付ける。
取付が不完全な場合、ランプ落下、照度低下の原因となります。
- ・ソケットキャップをソケットにしっかりと締め付ける。
取付が不完全な場合、防水性能が損なわれ、
絶縁不良または感電の原因となります。

7 取付金具の取付

- ・下図に従い取付金具のネジ穴側を反射板に差し込み引っ掛ける。
- ・ドライバーで同梱のネジを締め付け固定する。
- ・ネジ頭の破損防止の為、電動ドライバーは使用しないでください。

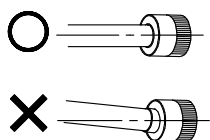
指定以外のランプ使用を防止するため必ず取付金具を取付けてください。



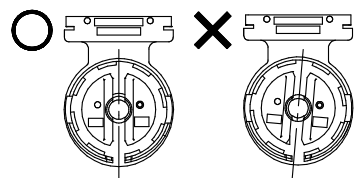
8 点灯確認

- ・電源通電状態で、ランプ及びモニターランプが点灯するか確認する。
 - ・点検スイッチを引き、非常点灯を確認する。
(充電モニターは消灯します)
- 正常に動作しない場合は
「故障かな?と思ったときは」
の項を参照してください。

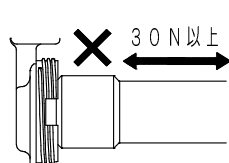
ソケットキャップ取付時の注意点
：ランプをまっすぐに挿入する。



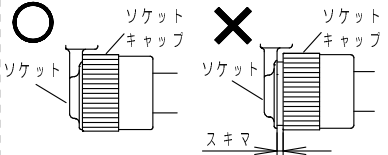
①の注意点：給電側ソケットの回転部分が下図の位置にあることを確認する。



②の注意点：ランプ長手方向に30N以上の力を加えない。



③の注意点：ソケットキャップとソケットにスキマが出ないように締め付ける。
(中途半端締付、斜め締付をしない。)



1 取付前の確認

- ・器具質量(3.6kg)に十分耐えるよう、取付ボルト取付部の強度を確保する。(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)
- ・器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

不備があると器具落下の原因となります。

丸穴カパーの場合

(DS4311等) 66.7

スイッチカバーの場合

(DS4611等) 83.5

2 ソケットの取付

- ・ソケットをソケット台にくぐらせて確実に取付ける。

3 本体の取付、電源線、アース線の接続

- ・D種(第3種)接地工事が必要。
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- ・口出し線の種類：ポリエチレン絶縁電線 電線の線径：0.75mm²

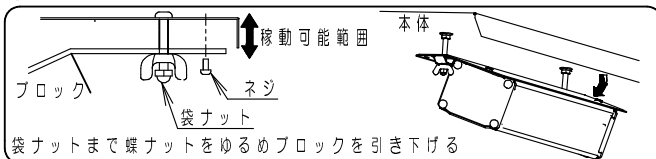


警告

接続、保護が不完全な場合、
感電・火災の原因となります。

- ・下記の手順に従い実施する。

①ブロックのネジを外し蝶ナットをゆるめる。



袋ナットまで蝶ナットをゆるめブロックを引き下げる

②ブロックを引き下げ、電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。

③本体を取付ボルトに確実に取付ける。(取付ボルト推奨トルク値1.5N・m)

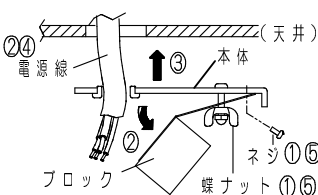
- ・器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。
- ・電源線・器具口出し線・アース線を接続する。
- ・接続部の絶縁、防水処理(融着テーピング等)を確実に施工する。

不備があると器具落下・感電の原因となります。

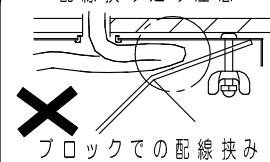
④余分な電源線を天井裏へ押し込む。器具内に収納する場合は、ブロックや電池などの部品に干渉しないよう注意する。

⑤ブロックの蝶ナットを締め、ネジを確実に取付ける。
(ネジ締付推奨トルク値1.4N・m)

- ・戻す際は、器具内線を挟み込まないように注意する。



配線挟み込み注意



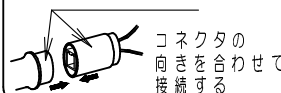
ブロックでの配線挟み込みに注意すること

4 コネクタの接続

- ・常用電源接続後、蓄電池の防水コネクタを接続してください。

接続が不完全な場合、
非常点灯不点の原因となります。

防水コネクタ



コネクタの向きを合わせて接続する

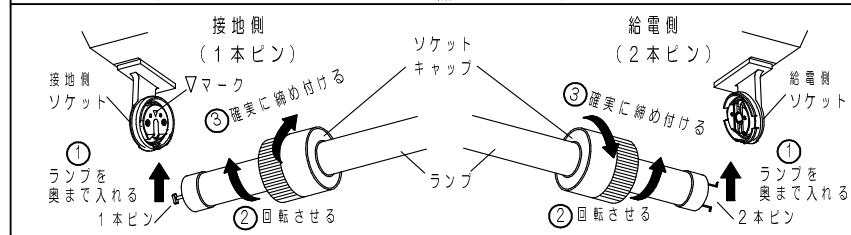
5 反射板の取付

- ・モニターランプと反射板の穴の位置を合わせる。
- ・点検スイッチを反射板の穴に通す。
- ・ツマミネジを締め付けて反射板を確実に取付ける。

取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

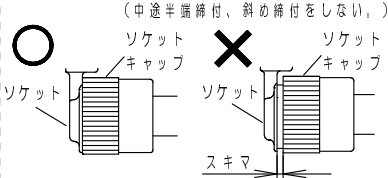
注) 反射板エンド部の梱包材をとりはずしてから反射板を取付けてください。

絶縁不良、感電のおそれあり。下記注意点にしたがい、確実に取付けてください。



②の注意点：ランプ長手方向に30N以上の力を加えない。

③の注意点：ソケットキャップとソケットにスキマが出ないように締め付ける。
(中途半端締付、斜め締付をしない。)



安全に関するご注意

警告

- 器具、ランプを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取扱に注意する。破損によるケガの原因となります。
万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損（ひび・割れ等）した状態で使用しない。
破損した状態でも点灯しますが、使用し続けると防水性能が損なわれ、落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしない。破裂する危険があります。
- 蓄電池は分解しない。火傷、感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池をショートさせない。破裂、火傷、感電、火災の原因となります。

注意

- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。（※1）
法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 長時間器具を使用しないときは、蓄電池は外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。必要な場合は弊社営業所へお申し出ください。（チェックシート番号：CLX2021JA）
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。
非常用照明器具の場合、使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯です。

■LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。

使用上のご注意

- ・調光機器などとの組合せはできません。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のランプでも光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・接地極のない電源に接続する場合は、消灯後もランプが薄暗く発光する場合があります。予めご了承ください。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。

お手入れ・部品交換

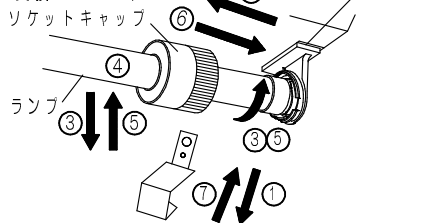
- ・器具の清掃について――水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について――この器具の適合ランプは、直管LEDランプです。
ランプ交換の際は、必ず下記に指定のパナソニック製ランプをご使用ください。

直管LEDランプ	蓄電池
LDL20S・N/11/12-K	FK843(4.8V 3000mAh)

警告

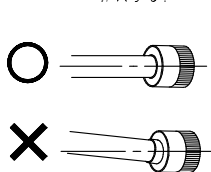
- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- ランプ破損のおそれあり
ランプはガラス製です、取扱に注意してください。
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと。
- 非常時に正常点灯せず
必ず指定の適合ランプを使用すること。

(ランプ交換のしかた)

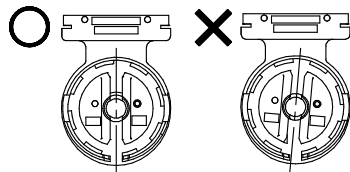


- ① 取付金具を外す（給電側のみ）。
- ② ソケットキャップをソケットから取外す。
- ③ ランプを90°回転させ、ランプを下方方向に取外す。
- ④ 新しいランプにソケットキャップをはめこむ（下図参照）。
- ⑤ ランプをソケットに取付け、ランプを90°回転させる（下図参照）。
- ⑥ ソケットキャップをソケットにしっかりと締め付ける（下図参照）。
取付が不完全な場合、防水性能が損なわれ、絶縁不良または感電の原因となります。
- ⑦ 取付金具を取付ける。

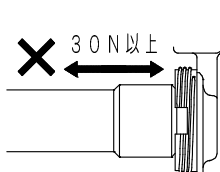
④ の注意点：ランプをまっすぐ挿入する。



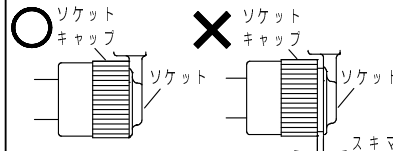
⑤ の注意点：給電側ソケットの回転部分が下図の位置にあることを確認する。



⑤ の注意点：ランプ長手方向に30N以上の力を加えない。



⑥ の注意点：ソケットキャップとソケットにスキマが出ないように締め付ける。（中途半端締め付、斜め締め付をしない。）



お手入れ・部品交換（続き）

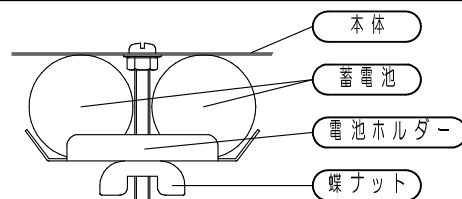
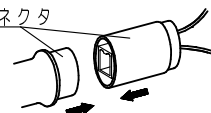
・蓄電池交換方法—————・下図を参照のうえ確実におこなってください。

- 1 取付金具、ランプをはずす。
- 2 反射板をはずす。
- 3 蓄電池を交換する。
 - ・蓄電池防水コネクタを抜く。
 - ・蝶ナットと電池ホルダーをはずし、蓄電池を交換する。
- 4 蓄電池を取付ける。
 - ・外した手順と逆の手順で確実に取付ける。
 - ・電池ホルダーでリード線をきずつけないでください。
 - ・感電・火災の原因となります。
 - ・防水コネクタは確実に差し込む。

接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

- 5 反射板、ランプ、取付金具を取付ける。
 - ・外した手順と逆の手順で確実に取付ける。
- 6 点灯確認
 - ・電源通電状態でランプおよび充電モニタが点灯するか確認する。
 - ・点検スイッチを引き非常点灯を確認する。

防水コネクタ



保証について

- ・保証について———この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について——保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品——弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
の保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

◆定期点検 3ヶ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヶ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
(点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

◆設置年月日 年 月 日

◆取付場所

◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

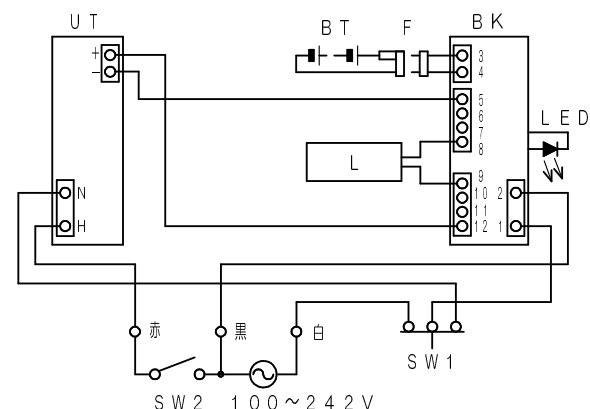
故障かな？と思った時は

・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
常時、LEDランプが点灯しない	LEDランプの寿命	ランプを交換する
	消灯スイッチOFF	スイッチをONする
非常点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する
	AC電源が通電状態となっていない	AC電源を通電状態とする
短時間しか点灯しない (30分未満)	蓄電池の充電不足 (保管時の自然放電や、施工時の放電など)	48時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池を交換する
充電モニタが点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する

器具定格・接続図

接続図



部品の記号と名称

UT：電源ユニット
SW1：点検スイッチ
BK：ブロック
SW2：常用消灯スイッチ
BT：蓄電池
LED：充電モニター
L：ランプ
F：ヒューズ付コネクタ（10A）

定格

ランプ	非常時光束	AC		
		100V	200V	242V
LDL20S・N/11/12-K	620lm	入力電流	0.16A	0.09A
		入力電力	16W	16W



この器具には、ニッケル水素蓄電池を使用しております。

ニッケル水素電池はリサイクル可能な資源です。ニッケル水素電池の交換、及びご使用済の電池の破棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出しリサイクルにご協力ください。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター

0120-878-709（フリーコール） 0120-872-460（FAX）

MN0118-00